



宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校 学校通信

(平成31年3月2号)

文責 校長 田雑 健

平成31年3月8日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

来年、再来年の今頃は？

6日(水)、7日(木)と2日間にわたる長崎県公立高校一般入試が終了しました。



近づいてから、
あわてなくて
いいように

3年生の皆さん、ご苦労さまでした。生まれてはじめての「入試」だったでしょうから、緊張したことと思います。もし、「ああ、こんな準備をしておけばよかったなあ」ということがあったら、今のうちに後輩に伝えておいてください。



神様、仏様に
お願いする
のも結構で
すが・・・

さて、1・2年生の皆さん、先輩方の受験への取組を見て、来年、再来年への思いは高まったでしょうか。一人一人に将来の夢や憧れ、志があるでしょうから、当然その実現を図る道筋も各々で違ってきます。学年に応じて進路学



最後は「努力
に勝る天才
なし」

習も進めてきたことと思います。「自分の夢」に近づくために、計画を立てて実践する。決して早すぎるといことはありません。学問に近道はありません。最後に物を言うのは1日1日の積み重ね。次はあなたの番です。

「計画のない目標は、
ただの願ひ事にすぎない。」
サン＝テグジュペリ

先輩からの・・・

先週のことになりますが、28日(木)と1日(金)の2日間続けて高校にうかがいました。28日は進路発表会ということで、皆さんとともに高校3年生4名の先輩方から進路選択・実現に向けての貴重なアドバイスを聞かせてもらいました。さすがに自分の将来をかけた選択をし、その実現に向けて努力した先輩の言葉には重みがありました。「面接は練習するほどうまくなる」「常識」と油断せずにきちんと勉強する」「毎時間の授業を大切にする」「あきらめない」などなど。また機会を見て一緒に考えたいものです。

1日は卒業証書授与式でした。昨年度も参加させていただいて、その折には本紙に『「荘厳」といったイメージで、身の引き締まる思いがしました。』と書いたのですが、今回厳粛さはもちろん変わらないのですが、その一方でとても和やかな雰囲気を感じました。式終了後には10名の卒業生一人一人から、巣立ちゆく戸惑いや不安、そして喜び、何より今まで支えてくださった方々への感謝のスピーチがありました。

『悲しくなったなら 辛くなったなら 僕はずっとここにいるから いつでも帰っておいで 君を待ってるから』という『宝島 ～ふるさと～』の歌詞が改めて心に響いた一日でした。

1月～3月の指針

将来の自分を見据える ―志を新たに―

○体験授業、入試、卒業式、修了式 など

宇久中学校 第72回卒業証書授与式

3月14日（木）10時 開式
本校体育館にて

ぜひご来校ください。



3月・4月の行事予定

14日（木） 本校第72回卒業証書授与式

22日（金） 修了式、離任式

4月

8日（月） 着任式、始業式

2・3年生は弁当

の日です。よろしくお願いします。



9日（火） 本校第73回入学式（午前）

1年生は午前中で下校

2・3年生は給食開始

火の用心



【春の全国火災予防運動】は7日で終了しましたが、油断は禁物。毎日が火の用心
「忘れてない？」

サイフに、スマホに、火の確認」

「道徳」が変わります2

本紙前号で、今回の学習指導要領改訂でこれまでの「道徳」が「特別の教科 道徳」になりますとの記事を掲載しました。

今回は第2弾として、説明を続けさせていただきます。前号では従来からの変更点として

- ① 他教科と同じように「教科書」ができます。
- ② 「特別の教科 道徳」の時間でどのような学びの成果があったかを通知表でご家庭にお知らせすることになります。

の2点をあげました。

①については、佐世保市立の各中学校では東京書籍の「新しい道徳」を使用することが決まっています。なお、このほかの会社の分も含めて、本校図書館に設置されている「宇久教科書センター」に教科書は揃っていますので、機会がありましたら、どうぞご一読ください。

②については、文章で1年間を通したお子さんの学びの成果をお伝えするという一方で、特に、数値で評価して他のお子さん達と比較したり、入試での資料になったりすることはありません。

以上に加えて、『そもそもなぜ「特別の教科」なのか？』というお尋ねがあるかもしれません。これは「教科」が、教科書を使用し、教科ごとの免許があり、数値による評価を行うものを言うのに対して、道徳については、数値による評価を行わず、担任が担当することから、特に「特別の教科」という新たな位置づけが設けられたのです。

もちろん、道徳の授業だけでなく、いろいろな活動の中で、子どもは「人として大切なこと」を学びます。その際、家庭、地域の方と手を携えて進めていくことがとても重要です。

今後も学校での取組については、ご報告をしてまいりますので、どうか家庭、地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。